

1. 開催年月日 令和7年3月27日
2. 開催場所 三原駅前スペースキオラスクエア内サテラス
3. 委員出席
委員総数 7名
出席委員数 6名

4. 議題
- ・局からの近況報告
 - ・番組審議について

5 議事の概要

6 審議内容

- (1) 開会宣言
放送事業者からの開会宣言
- (2) 局からの報告
「4月の番組改編」について

事務局より以下の通り報告があった。

事務局 「番組の大きな変更はないが、朝と夕方に放送している生放送番組のタイトルと内容を一部変更する。タイトルに関して、朝は『モーニング』から『みはらモーニングレディオ』、夕方は『イブニングスペシャル』から『みはらサンセットレディオ』に変更する。

内容については、交通情報の取り上げ方を変更する。従来は、決まった時間に交通情報コーナーを発信していたが、FMみはらに道路渋滞情報が入ってくるタイミングと実際の渋滞状態にタイムラグが発生している為、正確な発信ができていなかった。今後は、交通情報コーナーは無くし、高速道路やJR、新幹線、飛行機発着など情報が入るたびに発信していく構成とする。

交通情報コーナーがなくなり、全体の構成が変わる為、タイトルやジングルを変更し、新しい番組としてスタートする。

また、番組内のコーナー名に関して、開局当時につけた名前を現在も使用していた為、コーナー名と放送内容が一致しない事があった。このタイミングでコーナー名の見直しも行った。

朝・夕の生放送以外では、【水曜日3時のあなた】と題して、毎週水曜日の15時から16時の1時間、週替わりに、三原市内問わず県内で活躍している方をパーソナリティに起用し、オープンスペースにリスナー集客できるような番組を企画している。第1週目は『おだしづえのミュージックブック』を12月から放送している。この4月から第2週目に『映画監督前田多美のころがりつづけていいことあるさ！』を放送する。3週目・4週目に関しても、県内で活動している知名度のある方を起用した番組を考えている。」

A 氏 「朝の交通情報は業者から仕入れていたのか？」

- 事務局 「業者から仕入れていた。10分おきに更新される情報を基に、渋滞情報を発信していたが、交通量が頻繁に変わる為、情報にタイムラグが発生している。」
- 事務局 「また、中小企業同友会の番組が4月から改編される。」
- 事務局 「『社長さん、教えて！中学生のいま知りたい』というタイトルで放送する。毎回、三原市内の中学生が出演。中学生が、中小企業同友会、会員企業の経営者に企業の事や疑問に思ったことを質問し、経営者が回答していく内容。中学生が未経験の事に触れ、三原市内にある企業の事を知つてもらう目的がある。」
- B 氏 「高校生が出演すると、より現実的な話になるのではないか。」
- C 氏 「少しでも子供たちに、三原市内の企業について知つてもらうきっかけになればいいのではないか。また、教員も知らないことが多い。教員にとってもいい番組になればよい。」
- B 氏 「『おだしづえのミュージックブック』や『映画監督前田多美のころがりつづけていいことあるさ！』のような番組を増やすべきである。三原市外で活動されている方に出演頂くことで、新しいことが吸収できるのではないか。」
- 事務局 「おだしづえは経験値が豊富で、勉強になることが多い。」
- B 氏 「他コミュニティFM局との関わりはあるか？」
- 事務局 「『行政書士記念日特別企画：藤田弘之と考える終活ラジオ』は、FMはつかいちと計画した。FM東広島とは番組を交換し放送している。今後、今以上に番組制作の部分で連携していきたいと考えている。」

第一号議案「番組審議」

番組名：行政書士記念日特別企画：藤田弘之と考える終活ラジオ
出演：藤田弘之、中野辰悟 他

- 事務局 「広島県行政書士会が年1回、無料相談会イベントを開催している。今年の企画としてラジオとタイアップできないか？」と、行政書士として活動しているパーソナリティ中野辰悟から打診があった。
- 藤田弘之をメインパーソナリティに起用し、ゆめタウン広島のイベント会場で『行政書士記念日特別企画：藤田弘之と考える終活ラジオと無料相談会』を開催した。藤田弘之が進行役を務め、各行政書士が時間ごとに入れ替わりながら、自身の専門分野について解説する内容でイベントを行った。同時にラジオ収録も行い、後日、FMみはらで放送した。
- イベント開催にあたり、話している音声をイベント会場に流す音響機材がFMみはらにない為、FMはつかいちに協力してもらい、イベントを開催した。
- 一部、二部に分けてラジオ収録を行ったが、一部の音声データにトラブルが発生した。そのため若干、音質に問題があった。今度、公開収録のようなイベントで収録する場合、業者と再度、確認を行つて対応する。」
- D 氏 「終活は取り掛かりにくい話題だが、フランクに落とし込めていた。」
- C 氏 「行政書士は、一般の人からなじみのない職業である。行政書士の存在や活動を知つてもらうきっかけになったのではないか。」
- E 氏 「相続問題は、色々な場所で起きている。このような難しい話題でも、聞きやすかった。」

B 氏「ゆめタウン広島で開催したことがよかったです。多くの人がFMみはらを知るきっかけになる。」

F 氏「財産やエンディングノートについて改めて知ることが出来た。終活に関する知識を持つことが大切であると感じた。」

事務局「このイベントを通じて、行政書士が何をしているのか、一般の人が知るきっかけになったのではないか。税理士や司法書士との違いが分かりにくいうが、『何かあったらとりあえず行政書士へ』という事は、イベント参加者やリスナーに伝わったと感じている。」

A 氏「藤田弘之さんがパーソナリティをすることで、難しい話題でも聴きやすかった。」

B 氏「案内チラシはどこに配ったのか。」

事務局「三原リージョンプラザでも配布したが、基本的には広島市内の施設で配布していた。」

第二号議案「ご要望について」

- 7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
 - ・必要にあわせて今後の審議会の中で対応したことについて発表する。
- 8 審議機関の答申又は意見の概要の公表
 - 公表の方法：事務所への備置き ホームページでの公開
 - 公表の内容：議題、議事の概要および審議内容
 - 公表年月日：令和7年4月16日
- 9 その他参考事項